

令和 7 年度 豊郷町下水道事業審議会検討部会 議事録

日 時：令和 7 年 7 月 23 日（水）
午後 7 時 00 分から
場 所：豊郷町役場 3 階会議室

事務局	皆様こんばんは。本日はお忙しい中、豊郷町下水道事業審議会検討部会にご出席いただき、誠にありがとうございます。
	はじめに、当町上下水道課長の中山よりご挨拶申し上げます。中山課長よろしく願います。
事務局	（挨拶）
	中山課長ありがとうございました。
事務局	では、これより次第に従い検討部会を進めさせていただきます。次第 2、下水道事業の経営状況について、事務局より説明させていただきます。（資料①）
事務局	（事務局説明）
委員	今回の資料は令和 4 年からの分しかないが、もっと前のものはないのか。直近 3 年では推移がつかみきれない。毎年同じくらいの使用料収入なのか。
事務局	下水道事業は令和 2 年に公営企業会計となっているため、そこからの資料はお出しすることが可能です。毎年同程度の収入となっています。
委員	使用料を 110 円以上値上げしたいというのは、一律に上げるということか。
事務局	今回お出ししているのはあくまで簡易的なシミュレーションなので、どの使用水量帯をどのくらい上げるのかといった細かい部分は、次回の検討部会にて議論させていただきたいと思います。
委員	流域下水道の負担金には、不明水の部分も含まれると思うが、豊郷町で井戸を使用している世帯はどのくらいいるのか。
事務局	本日はそういったデータが無いため、次回の検討部会で資料として提示させていただきたいと思います。
事務局	では、質疑応答を一旦区切らせていただき、説明に戻らせていただきます。

事務局	<p>(事務局説明)</p> <p>今の説明もしくは全体を通してご質問がある方はいらっしゃいますでしょうか？</p>
委員	<p>現金が足りないというのが説明されていると思うが、民間企業なら支出を収入に合わせるのが普通で、いくなれば赤字の補填を税金でしている状態だろう。それを是正する必要があるのではないか。無駄な支出があるのではないか。</p>
事務局	<p>町としては必要な支出のみであると考えています。それでも償還金の額が大きく、収入の金額に合わせるというのは実質不可能となります。</p>
委員	<p>最初の使用料設定が、採算が取れないものになっているというのは、そもそもの設定が間違っていたということか。</p>
委員	<p>水道が先に普及し、下水道がその後に整備されたという時系列から、水道料金よりも下水道使用料を高く設定するということが諸々の条件でできなかったのではないか。だが、下水道工事は水道の3倍かかるのに、使用料が水道より低く設定されているというのは、そもそも立ち行かなくなることが見えていた。下水道を早く普及させるために使用料を抑えたいとなったのだろうが、これによって全国の自治体の下水道事業経営が厳しくなっている。</p>
委員	<p>値上げとなっても、今の豊郷町の使用料が高いのか安いかわからない。</p>
事務局	<p>今回の検討部会では近隣の使用料単価が分かる資料を用意させていただきます。</p>
委員	<p>下水道管の更新の費用を資料にされているが、これは豊郷町の下水道管の分だけだろう。県が流域下水道で運営しているなら、県の下水道管も更新されるのだから、それがまた負担金として跳ね返ってくるということだろう。それも盛り込んでおくべきではないか。金額も出しておくべき。</p>
事務局	<p>確かに流域下水道の管についても更新は発生しているはずなので、その分負担金は上がってくると考えます。更新計画の細かい部分は町では把握していないので、個別に金額を盛り込むというのは難しい。</p>
事務局	<p>では、最後に次第4、その他についてです。今後のスケジュールについてですが、検討部会で議論いただいた後に、審議会を開催予定です。日程が決まり次第、通知文を送付させていただきますの</p>

で、ご出席のほどよろしく願いいたします。次回の検討部会では、使用料体系について議論いただきたいと考えております。本日はお忙しい中ありがとうございました。